

後援会だより

— 2024
Vol. 22



陸上競技部 練習の様子

広島修道大学後援会

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東一丁目1-1
Tel. (082) 830-1116
<https://www.shudo-u.ac.jp/kouenkai/>

2023年度 後援会特別事業 実施状況

学生の皆さんの健康を食事面から支えたいという思いから、2022年度大好評だった「ランチキャンペーン」を2023年度も開催しました。

Action 1

100円ランチキャンペーン（前期）

各食堂・店舗において、定食やランチボックスなどの対象商品を数量限定の100円で提供し、差額を後援会で支援しました。



Action 2

後援会ランチキャンペーン（後期）

数量を大幅に増やし、会計金額より200円割引など、各店舗キャンペーン価格で提供し、差額を後援会で支援しました。

アルカディア



彩り野菜
ポテトサラダ

小鉢トリオ

彩り野菜ポテトサラダ1円（1日限定140食）
または、小鉢トリオ1円（1日限定160食）

パティオ



テイクアウト弁当1つ200円引き
（1日限定80食）

フォレスト



メニュー限定200円引き（週替わりで2、3品）

リトルマーメイド



通常400円セットが200円（1日限定80食）

マリオ ターヴォラ



会計時に200円引き

マリオ ランチボックス



会計時に200円引き（販売数量のみ）

目次

Contents

後援会会長あいさつ 2	
— 実りある学生生活のために —	
学長あいさつ 3	
— 未来を創る人間力 —	
学部長からのメッセージ 4	
— 会員の皆さまへ —	

特集1

2024年度 後援会総会・講演会等 6	
2024年度後援会総会報告 6	
2023年度後援会事業報告／2024年度後援会事業計画 7	
2024年度後援会役員名簿 8	
2023年度収支決算 9	
2023年度事業基金特別会計収支決算／貸借対照表／預金等内訳 9	
2024年度収支予算 10	
2024年度事業基金特別会計予算 10	
講演会「野球人生から学ぶ～人を育てるマネジメント～」 11	
野村 謙二郎 (のむら けんじろう) 氏	
広島大学スポーツセンター客員教授・広島大学硬式野球部アドバイザー	
(広島東洋カープ元監督)	
2024年度総会・講演会等アンケート集計結果 16	

特集2

後援会の活動内容 18	
学生生活に関する支援／就職活動支援／卒業記念品／広報活動	
サークル活動紹介 20	
準硬式野球部・混声合唱団・陸上競技部・茶道部	
それぞれの家族の物語 22	

Campus navi

キャンパスナビ

..... 24	
教学センター 26	
学生センター 32	
学習支援センター 40	
国際センター 42	
ひろしま未来協創センター 44	
キャリアセンター 46	
2024年度教育懇談会開催のご案内 52	

広島修道大学後援会とは

広島修道大学後援会は、「会員と大学との連繫を密にし、会員相互の親睦を図るとともに、大学の教育研究活動を後援することを目的とする」組織です。

大学の創立当初より設けられており、本学に在籍する学生の保証人（保護者）を会員としています。



広島修道大学後援会 会長

藤井 知幸 (ふじい ともゆき)

実りある学生生活のために

平素より、皆さま方には後援会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

去る、5月25日に多数の保証人の皆さまにご出席いただき後援会総会を開催し、今年度の後援会活動をスタートいたしました。広島修道大学に通う学生の保証人として、皆さま方と力を合わせて学生生活が実りあるものになるよう取り組んでまいりますので、よろしく願いいたします。

「後援会」は、広島修道大学に在籍する学生の保証人の皆さまを会員とする組織で、「会員と大学の連繫を密にし、会員相互の親睦を図るとともに、大学の教育研究活動を後援すること」を目的として、大学創立当初より設置されています。

具体的には、①活動内容を決める総会、理事会、評議員会の開催 ②学生生活に関する助成 ③教育懇談会の実施 ④大学の現状説明・講演会等の催し・就職活動に関する保証人向けガイダンス等の実施 ⑤広報活動 ⑥卒業年次生に関する助成 ⑦特別事業の実施 など、保証人の皆さまと大学とのつながりや、子供たちの教育・生活環境の向上をサポートするための事業をおこなっています。

なお、教育懇談会については、9月から10月にかけて本学会場および松山・松江・岡山・山口・福山の各地で実施いたします。教職員の方々と直接情報交換ができる貴重な機会ですので、多くの保証人の方にご参加いただければと思います。

昨年5月のコロナ5類移行をうけ、数年ぶりに普通の日常を取り戻した子供たちの学生生活は以前にも増して活気に満ちています。後援会としても、全国レベルで活躍する学生、サークルの奨励、学生を支える同行顧問の旅費支援など、最大限のサポートを実施いたします。

また、今年度は学生のライフスタイルの変化にあわせたボトル給水型冷水機の設置、ベンチテーブルの再塗装によるコミュニケーションスペースの改修など、子供たちが充実した学生生活を送れるように、会員の皆さま方、大学と連携しながら学内環境の整備を展開してまいります。

かけがえのない青春時代を広島修道大学で過ごす学生たちが、修大生であることに喜びと誇りを持ち、社会に向けて羽ばたいていけるよう、教職員の方々と共に力を尽くしてまいりたいと思っております。会員の皆さま方の一層のご協力とご支援をよろしく願いいたします。



広島修道大学 学長

矢野 泉 (やの いずみ)

学長あいさつ

未来を創る人間力

後援会会員の皆様には、日頃よりキャンパスライフや教育環境の充実のために、多大なご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

昨今、生活の様々なシーンで AI が導入され、便利になってきました。そこで生成 AI に、後援会だよりの学長あいさつを書いてくださいとお願いしたところ、「広島修道大学は、幅広い学問と多様な学生が出会えるキャンパスであり、国際交流や地域貢献活動にも力を入れています。学生たちはこのような環境の中で、自らの将来に向けて積極的に学び、社会に貢献する意識を高めています。広島修道大学の学生は、特に地域社会の発展に貢献できる人材として育成されており、地域社会との連携を重視した人づくり、地域社会に開かれた大学づくりを目指しています。保証人の皆様がこれまで築いてこられた家庭環境が、学生たちの成長に大きな影響を与えていることは間違いありません。本学としても、学生たちが持つ可能性を最大限に引き出し、彼らが社会で活躍できるよう全力でサポートしてまいります。皆様には、引き続き温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。」という文章を10秒で作文してくれました。

この文章を読んで、皆様はどのように感じられましたか。当たり障りもなく、あいさつ文を書くテストの解答だとすると、減点が難しい文章です。しかし、私がもし保証人の一人としてこのあいさつ文を読んだとしたら、大学案内か何かで読んだような文章だな、おもしろくない学長あいさつだな、心には今ひとつ響かない、と残念に思ったかもしれません。AI は私が日頃感じている思いまでは深く読み取ってくれていないようです。

広島修道大学で学ぶ学生の皆さんには、減点部分があってもいい、しかしそれを上回るような、自分なりの考えを、自分なりの表現で他者に伝えたり、他者と共有できる力をもった人間に成長してほしいと願い、日々教育とその支援に取り組んでいます。「修道」という校名の基となった中国の古典『中庸』にある「人間にはそれぞれの天性がある。天性を伸ばすのが人間の道である。その道をしっかりとしたものに整える（道を修める）のが教育である」という言葉のとおり、生成 AI には決して表現できない自分自身や自分の道を学生ひとりひとりが築いていくのを、これからはしっかりと支え導いていきたいと思えます。引き続き温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

商学部



カスタマーファーストの精神

商学部長 **川瀬 正樹**

私は、4月の新入生向けの挨拶で、「勉強ができる」ことで評価されるのは大学受験までであり、それはもう終わったということ、重要なのは、それぞれがこれからの4年間、「何をするか」であることを伝えました。就職活動ではいくら学業成績が良くても、他の人には無い「売り」がないと評価してもらえません。何も努力しないで運良く4年で卒業できるとしても、お金をかけたのに何も身につけませんし、アピールできることもありません。「何をすべきか」は学生自身で考えてほしいと思っています。

今年1月から放映されたNHKドラマ「正直不動産2」を、私は好きで見えていました。その中で、「カスタマーファースト」という言葉がよく出てきます。日本語で言えば、「顧客第一主義」です。私が商学部で養いたいと思っている、顧客のニーズを察知する能力、人に、世の中に何を求められているかを常に考える姿勢は、仕事のみならず、人付き合いなど、あらゆる場面で求められます。それは、思いやりのある、人に寄り添うことができる人間になることにも繋がります。そして、そういう人間こそが評価されます。そんな人間力を身につけるための学生生活を送ってほしいと思っています。

人文学部



過渡期の醍醐味

人文学部長 **山川 尚美**

小1プロブレムや中1ギャップという言葉に象徴されるように、あるステージから次のステージに向かう時、ぴょんと駆け上がることができる人もいれば、前のステージと次のステージのもつ考え方や価値観等の違いから心理的危機に陥る人もいます。

大学では、高校までのステージと異なり、自由と自律が基調となり、授業でも授業外の暮らし方でも一人ひとりに選択が委ねられます。自己決定の機会が格段に増えます。自己決定できる機会は楽しくもありますが、もしも誰かに決めてもらうことに慣れていたら、その都度、戸惑いや葛藤、不安につながることも少なくありません。

しかし、自己決定は、大学という、子どもから成人に向かう過渡期の醍醐味であり、この経験が、次のステージを自ら切り拓く心持と行動力につながるのだらうと思います。また自己決定は、半径1mの人間関係からグローバルな視野に至るまでの社会的要素も加味してなされるでしょうから、自己と他者・社会との関係の再構築の機会にもなるでしょう。

先行く私たちは、少し距離をとりつつ、学生から求められれば応える・寄り添う伴走型支援者でありたいものです。学生一人ひとりが未来を見据えて自分の力を発揮し、それによる成長実感が持てる学習環境も準備したいと思っています。

法学部



法学部の学びを

法学部長 **奥谷 健**

今年度の入学生から新しいカリキュラムが始まりました。大きな変更点として、「卒業研究」が必須になるという点が挙げられます。法学部では、卒業論文は、実はこれまで必須ではありませんでした。とはいえ、今回のカリキュラムではいわゆる「卒業論文」、つまり「論文」だけを念頭に置いているわけではありません。学生も多様化し、ゼミでの活動内容もさまざまであるため、「研究」と題してグループでの取り組みなども広く認めていこうと現在検討しています。

この卒業「研究」を行っていくために、ゼミ活動が重要です。そこでは、学生同士がしっかりと議論し、互いの考えを理解・尊重することを学んでいきます。他者との議論を通じて、自分の理解を深めること、相手の考えを聞き自分の考えをまとめること、これこそが法学部の学びの本質であるといえます。

“卒業研究”への取り組みを通して、学生たちにこうした法律学の学びの面白さを実感してもらえることを期待しています。また、そのような教育を心がけていきたいと思っています。これからもご支援のほどよろしくお願いいたします。



経済科学部



より良い環境での新しいスタート

経済科学部長 **前田純一**

コロナ対応に関する規制もほとんどなくなり、授業の形式なども全学的にコロナ前のスタイルにほとんど戻りました。経済科学部におきましても、感染予防に配慮しつつも大教室、中教室、小教室のそれぞれにおいて、学生のみなさんと向き合いながらの授業が展開されております。

コロナ禍においてオンライン授業はずいぶん進化し、対面授業にはないメリットもたくさん出てきました。しかし、オンライン授業には学生のみなさんと向き合えないという大きなデメリットがあります。修大のキャンパスで新緑の空気を感じながら、友人たちの息遣いを感じながら、教室で先生方の声を聞きながら学修を進めていくことは、オンライン授業にはない（非常に）大きなメリットだと思います。

コロナ対応のために大学内のいろいろな状況が一変しておりましたが、そのような状況はほとんど解消され、もとに戻りつつあります。しかし、ただ戻るだけではなく、コロナ禍において得られた様々な教訓が生かされて、より良い方向に動いていることを感じます。

4月に入学した新入生のみなさん、それぞれの新しい学年に進級した在学学生のみなさんは、まだ感染予防に配慮しつつではありますが、コロナ前よりも良くなりつつある環境の中で新学年のスタートを切ったことと思います。この新しいスタートを契機に、我々もより良い教育が提供できるよう努めてまいりたいと思います。

人間環境学部



外の世界に目をむけよう

人間環境学部長 **川村邦男**

いま、大学生生活はほぼコロナ流行以前の状態に戻りました。この機会に学生さん達にはキャンパスの学修だけでなく、外の世界を知るプログラムなどにも積極的にチャレンジしてほしいと思います。外国人労働者は日本の産業を支え、一方で社会の中枢を外国人が担い始めています。さらに、世界は空前の観光ブームです。このようなご時世ですので、若い人にはぜひとも外の世界に目を向けて欲しいと思います。

目を向けて欲しい外の世界は、2つあります。第1は外国です。外国人や外国の文化・習慣を知ることにおいて、日本はまだ経験不足です。外国を経験するプログラムを通して大学生は大いに成長できます。留学とまではいかなくとも海外旅行からでも様々なことを学べますので、大学生時代にそれらのチャンスを作って欲しいと思います。第2は、自分が所属するローカルな世界の外です。社会は様々な理由によって、空間的・組織的に分断されがちです。この目につみにくい自分の身の回りにある身近な外の世界に、関心を持つことも大切です。人間環境学部では、外の世界を知り広い視野をもって活躍する卒業生を、今後も送り出して行くよう努めてまいります。

健康科学部



学ぶ者の主体性、教える者の責任

健康科学部長 **中西大輔**

今は若い頃から将来のキャリアを考えて意思決定することが求められています。小学生の頃から将来の夢を尋ねられ、大学進学段階でその夢に基づいて専攻を選ぶことが求められます。夢を持つことや、将来の計画を考えること自体は悪いことではありません。しかし、大学生はまだ主体が形成される途上にある存在です。大学に入学した学生たちは、卒業するまでの4年間で大きく成長し、主体が形成されていきます。私たち教職員は、教育を通じて学生たちが将来活躍できるよう、その成長を支えることが期待されています。学生たちは未成熟な存在ですが、それゆえに教育によって大きな成長をなし遂げる可能性を持っています。「自分の考えを持ちなさい」とか「将来のキャリアをしっかりと考えなさい」と言うのは少し急ぎすぎなのかもしれません。大学は学生が学ぶ場ではありますが、学ぶ者の主体性に過度に期待するのではなく、彼らが主体的に学び、自らの考えに基づいて意思決定できる存在になるよう、私たちはしっかりと教育を行い、導いていかなければならないと考えています。

国際コミュニティ学部



社会に目を向け、学び、経験を重ねる

国際コミュニティ学部長 **佐渡紀子**

オープンキャンパスの季節がやってきます。個別相談にきてくださる高校生に、「国際政治学科や地域行政学科を卒業したら、どんなところに就職できますか」と、しばしば聞かれます。この質問を受けると私は、おそらく少し困った顔をしていると思います。両学科の学生とも卒業後、多様な企業・団体に就職していくからです。私は、「資格が必要な職業は無理だけれど、そうでなければ、どんな業界・企業にも就職することができますよ。学生たちはそれぞれ自分の希望する業界に挑戦して、就職しています」と答えます。社会科学系の学びは多くの場合、大学での学びと就職先が直結するイメージを持ちにくいものです。両学科はその典型だと思います。

しかし、両学科を卒業する学生たちは、学科での学びに基づく力や特性を持っているように思います。例えば社会への関心、長期的視野、背景への洞察、コミュニケーション力、そして課題を解決することへの情熱です。このような特性や力は、学生たちがキャンパスの中や外で、学び経験を積むことで伸びていると感じます。

学生たちが安全に学び、経験し、それぞれの力を伸ばせるよう、国際コミュニティ学部はこれからも教育・学生支援に取り組んでまいります。



2024年度 広島修道大学後援会 後援会総会・講演会等

後援会総会

日 時：2024年5月25日(土) 10:00~10:40

場 所：本学3号館3101教室

出席者：後援会役員及び会員(保証人)

議 案：

1. 2023年度後援会事業報告並びに収支決算について
2. 2024年度後援会事業計画並びに予算について
審議の結果、上記議案は承認されました。

大学現状説明・講演会・昼食会・ 保証人向けガイダンス・キャンパスツアー

5月25日(土) 後援会総会終了後 10:50~15:30

【大学現状説明】 10:50~11:10

矢野 泉 学長

【講演会】 11:10~12:10

講師：広島大学スポーツセンター客員教授

広島大学硬式野球部アドバイザー

(広島東洋カープ元監督) 野村 謙二郎 氏

演題：「野球人生から学ぶ～人を育てるマネジメント～」

【昼食会】 12:20~13:20

【保証人向けガイダンス】 13:30~14:30

①「修大から世界へはばたく! -World Stage Program」
(国際センター)

②「就職活動のすすめ」 (キャリアセンター)

【キャンパスツアー】 14:40~15:30



● 2023年度後援会事業報告

1. 後援会総会、評議員会、理事会の開催

- (1)総会 5月27日(土) 10:00~10:40
- (2)評議員会 年3回 5月10日(水)、12月6日(水)、
2月28日(水)
- (3)理事会 年3回 4月26日(水)、11月29日(水)、
2月21日(水)

2. 学生生活に関する助成

- (1)授業やサークル活動の一環として行われる懇親会
に参加する教職員への助成 (142件)
- (2)サークル活動の随行に係る経費の助成 (162件)
- (3)就職活動支援
付箋セットの贈呈
- (4)全国大会出場サークルの奨励
団体10件、個人29名

3. 教育懇談会の実施

- (1)新入生保証人対象教育懇談会 (全学部)
4月1日(土) 入学式終了後
全体説明会、新入生保証人向けキャンパスツアー
- (2)本学会場及び地区会場
本学 (9/16)、松江 (9/23)、岡山 (9/30)、
山口 (10/7)、松山 (10/14)、福山 (10/28)

4. 大学現状説明・講演会・昼食会・保証人向けガイダンスの実施

- 5月27日(土) 後援会総会終了後
- 【大学現状説明】 11:00~11:20
矢野 泉 学長
- 【講演会】 11:20~12:20
講師：金沢大学融合研究域融合科学系教授/
東京大学未来ビジョン研究センター客員教授
金間 大介 氏
- 【昼食会】 12:30~13:20
- 【保証人向けガイダンス】 13:30~14:30
- ①「広島修道大学の国際交流-INとOUTのものがたり」
(国際センター)
- ②「インターンシップの普及と就職活動の現状について」
(キャリアセンター)

5. 広報活動

- (1)「後援会のしおり」の発行 (4月)
- (2)「後援会だより」の発行 (7月)
- (3)後援会 WEB サイトの更新

6. 卒業年次生に関する助成

- 卒業時に卒業記念品の贈呈 (名刺入れ)

7. 特別事業の実施

- 単年事業
- (1)100円ランチキャンペーン (前期) 9,404食
後援会ランチキャンペーン (後期) 19,010食
- (2)花の植栽

8. 特別事業のための基金積立

- 年会費の10%相当額を事業基金として積立

● 2024年度後援会事業計画

1. 後援会総会、評議員会、理事会の開催

- (1)総会 5月25日(土) 10:00~10:40



- (2)評議員会 年3回
- 第1回 5月8日(水) オリエンタルホテル広島
- 第2回 12月4日(水) むさし土橋店
- 第3回 2月26日(水) リーガロイヤルホテル広島

- (3)理事会 年3回
- 第1回 4月24日(水) 広島修道大学
インターナショナルハウス
- 第2回 11月27日(水) 広島修道大学
インターナショナルハウス
- 第3回 2月19日(水) 広島修道大学
インターナショナルハウス

2. 学生生活に関する助成

- (1)授業やサークル活動の一環として行われる懇親会
に参加する教職員への助成
- (2)サークル活動の随行に係る経費の助成
- (3)就職活動支援
- (4)全国大会等出場サークルの奨励

3. 教育懇談会の実施

- (1) 新入生保証人対象教育懇談会（全学部）
4月2日(火) 入学式終了後
【後援会会長挨拶・学生センターからの説明】
14:30～14:50（体育館）
- (2) 本学会場及び地区会場
（日程等は、P.52「2024年度教育懇談会開催のご案内」参照）

4. 広報活動

- (1) 「後援会のしおり」の発行（4月）
(2) 「後援会だより」の発行（7月）
(3) 後援会 WEB サイトの更新

5. 卒業年次生に関する助成

卒業時に卒業記念品の贈呈

6. 特別事業の実施

- 単年事業
- (1) 冷水機をボトル給水型冷水機へ更新（3台）
(2) アルカディア前鉄製ベンチテーブル再塗装（5台）
(3) 花・球根の植栽

7. 特別事業のための基金積立

年会費収入の10%相当額を事業基金として積立

● 2024年度後援会役員名簿

【後援会会員】

役員名	氏名	学年
会長	* 藤井 知幸	3年
副会長	* 木下 健吾	4年
	* 川本 直子	4年
	* 浅沼麻衣子	4年
理事	* 小田 秀昭	4年
	森原 文	3年
	前坂 聡	3年
監事	池田 恭子	3年
	青木 清美	3年
評議員	木谷 裕子	3年
	松本健太郎	3年
	中尾 尚子	2年
	明木庵寿敏	2年
	井川 孝枝	2年
	内堀 正明	2年
	岡本 美彦	2年
	小松 弘明	2年
	舟木 正和	2年
	阿部 恭子	2年
	岩男 道治	2年
	飛谷美智明	2年
	北川 賢一	2年
	新井めぐみ	2年
	橘 英樹	2年
	(新) 津田 貴之	1年
	(新) 秦 英子	1年
	(新) 藤岡 崇光	1年
	(新) 伊藤 真哉	1年
	(新) 山田 正彦	1年
	(新) 木村 充秀	1年
	(新) 原田 直実	1年
	(新) 島尾亜矢子	1年
(新) 漆谷 恵美	1年	

*は学園評議員を示す
(新)は【後援会会員】新任評議員

【大学教職員】

役員名	氏名	役職
顧問	矢野 泉	学長
	増田 尚史	副学長
	羅 星仁	副学長
	大澤 真也	副学長
	竹井 光子	副学長
	川瀬 正樹	商学部長
	山川 肖美	人文学部長
	奥谷 健	法学部長
	前田 純一	経済科学部長
	川村 邦男	人間環境学部長
	中西 大輔	健康科学部長
	佐渡 紀子	国際コミュニティ学部長
	吉田 輝美	大学事務局長・財務部長
理事	森河 亮	学生センター長
	山尾 涼	教学センター長
	森岡 一憲	キャリアセンター長
	古川亜衣子	総務部長・総務課長
評議員	玉繫 克明	商学部 准教授
	狩谷あゆみ	人文学部 教授
	山田 明美	法学部 准教授
	太田耕史郎	経済科学部 教授
	佐々木 緑	人間環境学部 教授
	内野 悌司	健康科学部 教授
	王 偉彬	国際コミュニティ学部 教授
	中川 慎	学生課長
	木村 千鶴	教学センター事務部長
	木村 太祐	キャリア支援課長

● 2023年度 収支決算

(2023年4月1日～2024年3月31日)

広島修道大学後援会
(単位：円) 2024年3月31日現在

【収入の部】

科目	2023年度予算	2023年度決算	差異
1. 会費収入	29,175,000	29,985,000	△ 810,000
2. 雑収入	1	648	△ 647
3. 受取利息	250	219	31
4. 預り金受入	150,000	127,455	22,545
5. 寄附金収入	0	20,000	△ 20,000
小計	29,325,251	30,133,322	△ 808,071
6. 前年度繰越金	12,520,163	12,520,163	0
合計	41,845,414	42,653,485	△ 808,071

【支出の部】

科目	2023年度予算	2023年度決算	差異
1. 助成費	6,700,000	6,326,080	373,920
① 学生懇談費	1,800,000	808,000	992,000
② 随行費	4,000,000	4,469,800	△ 469,800
③ 就職援助費	400,000	368,280	31,720
④ サークル援助費	500,000	680,000	△ 180,000
2. 事業費	12,310,000	8,346,599	3,963,401
教育懇談費	6,880,000	3,875,148	3,004,852
① 印刷費	330,000	231,147	98,853
② 通信費	1,000,000	553,873	446,127
③ 旅費交通費	750,000	348,110	401,890
④ 懇談費	4,400,000	2,398,809	2,001,191
⑤ 諸費	400,000	343,209	56,791
広報費	2,530,000	1,475,931	1,054,069
① 後援会だより	2,400,000	1,357,681	1,042,319
② 後援会のおしり	130,000	118,250	11,750
卒業記念費	2,900,000	2,995,520	△ 95,520
3. 庶務費	6,560,000	5,844,988	715,012
① 印刷費	50,000	42,900	7,100
② 通信費	40,000	10,459	29,541
③ 慶弔費	1,300,000	1,200,012	99,988
④ 消耗品費	100,000	86,634	13,366
⑤ 会議費	1,500,000	1,342,468	157,532
⑥ 交通費	40,000	69,450	△ 29,450
⑦ 業務委託費	0	0	0
⑧ 人件費	3,500,000	3,080,521	419,479
⑨ 諸費	30,000	12,544	17,456
4. 特別事業費	8,735,000	8,199,904	535,096
① 前期100円ランチキャンペーン	4,010,000	3,920,900	89,100
② 後期後援会ランチキャンペーン	4,010,000	3,564,004	445,996
③ キャンパス花壇植栽整備	715,000	715,000	0
小計(1～4)	34,305,000	28,717,571	5,587,429
5. 基金積立額	2,917,500	2,998,500	△ 81,000
6. 期末未払金	0	0	0
7. 預り金支払	150,000	99,486	50,514
8. 予備費	4,472,914	0	4,472,914
9. 次年度繰越金	0	10,837,928	△ 10,837,928
合計	41,845,414	42,653,485	△ 808,071

● 2023年度事業基金特別会計 収支決算

(2023年4月1日～2024年3月31日)

広島修道大学後援会
(単位：円) 2024年3月31日現在

【収入の部】

科目	金額	備考
前期繰越金	19,080,823	
当期基金積立	2,998,500	会費収入(29,985,000円)の10% (5,997名：減免者を除く)
当期預金利息収入	323	
合計	22,079,646	

【支出の部】

科目	金額	備考
次年度繰越金	22,079,646	
合計	22,079,646	

● 貸借対照表 (2024年3月31日現在)

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
現金	68,811	基金積立金	22,079,646
普通預金	10,769,117		
通知預金	0	次年度繰越金	10,837,928
定期預金	22,079,646		
合計	32,917,574	合計	32,917,574

● 預金等内訳 (2024年3月31日現在)

(単位：円)

銀行名等	金額	備考
1. 現金	68,811	一般会計
2. 普通預金	10,769,117	
広島銀行 安支店	0168955	10,364,301 一般会計
もみじ銀行 西風新都支店	0016053	292,032 一般会計
広島信用金庫 沼田支店	0115237	112,784 一般会計
3. 定期預金	22,079,646	
広島銀行 安支店	3081764	6,201,295 特別会計
もみじ銀行 西風新都支店	0018269	4,172,719 特別会計
広島信用金庫 沼田支店	0428602	11,705,632 特別会計
合計	32,917,574	

(注) 差異の欄の△印は、収入の部では収入増を表し、支出の部では支出超過を表す。

広島修道大学後援会の2023年度(2023年4月1日から2024年3月31日まで)における収支決算書、貸借対照表について監査を行いました結果、適正であることを確認しました。

監事 池田 恭子、青木 清美

● 2024年度 収支予算
(2024年4月1日～2025年3月31日)

広島修道大学後援会
(単位：円)

【収入の部】			
科 目	2024年度予算	2023年度予算	増 減
1. 会費収入	29,935,000	29,175,000	760,000
2. 雑収入	1	1	0
3. 受取利息	250	250	0
4. 預り金受入	150,000	150,000	0
小 計	30,085,251	29,325,251	760,000
5. 前年度繰越金	10,837,928	12,520,163	△ 1,682,235
合 計	40,923,179	41,845,414	△ 922,235

【支出の部】			
科 目	2024年度予算	2023年度予算	増 減
1. 助成費	7,500,000	6,700,000	800,000
①学生懇談費	1,600,000	1,800,000	△ 200,000
②随行費	4,700,000	4,000,000	700,000
③就職援助費	400,000	400,000	0
④サークル援助費	800,000	500,000	300,000
2. 事業費	13,670,000	12,310,000	1,360,000
教育懇談費	6,230,000	6,880,000	△ 650,000
①印刷費	330,000	330,000	0
②通信費	1,000,000	1,000,000	0
③旅費交通費	500,000	750,000	△ 250,000
④懇談費	4,000,000	4,400,000	△ 400,000
⑤諸費	400,000	400,000	0
広報費	3,540,000	2,530,000	1,010,000
①後援会だより	3,350,000	2,400,000	950,000
②後援会のしおり	190,000	130,000	60,000
卒業記念費	3,900,000	2,900,000	1,000,000
3. 庶務費	6,750,000	6,560,000	190,000
①印刷費	20,000	50,000	△ 30,000
②通信費	20,000	40,000	△ 20,000
③慶弔費	1,300,000	1,300,000	0
④消耗品費	250,000	100,000	150,000
⑤会議費	1,500,000	1,500,000	0
⑥交通費	150,000	40,000	110,000
⑦業務委託費	0	0	0
⑧人件費	3,500,000	3,500,000	0
⑨諸費	10,000	30,000	△ 20,000
4. 特別事業費	3,230,000	8,735,000	△ 5,505,000
2023年度ランチキャンペーン(前期・後期)	0	8,020,000	△ 8,020,000
①ポトル給水型冷水機(3台)	2,310,000	0	2,310,000
②鋳製ベンチテーブル再塗装(5台)	200,000	0	200,000
③花・球根植栽	720,000	715,000	5,000
小 計	31,150,000	34,305,000	△ 3,155,000
5. 基金積立額	2,993,500	2,917,500	76,000
6. 期末未払金	0	0	0
7. 預り金支払	150,000	150,000	0
8. 予備費	6,629,679	4,472,914	2,156,765
9. 前期末未払金支払支出	3,000	0	3,000
10. 次年度繰越金	0	0	0
合 計	40,923,179	41,845,414	△ 922,235

(注) 差異の欄の△印は、収入の部では収入増を表し、支出の部では支出超過を表す。

● 2024年度事業基金特別会計 予算
(2024年4月1日～2025年3月31日)

【収入の部】		
科 目	金 額	備 考
前 期 繰 越 金	22,079,646	
当 期 基 金 積 立	2,993,500	会費収入の10% (5,987名：減免者を除く)
当 期 預 金 利 息 収 入	1,000	
合 計	25,074,146	

【支出の部】		
科 目	金 額	備 考
次 年 度 繰 越 金	25,074,146	
合 計	25,074,146	

後援会における事業

寄 贈



100円ランチキャンペーン
(2021～2023年度)
後援会ランチキャンペーン(2023年度)



花の植栽



食堂棟北側広場改修
(2022年度)



修大フォーラム棟
屋外ウッドデッキの修繕(2020年度)
屋外ステージ屋根テントの張替(2021年度)



デジタルサイネージの設置
(2011年度、2015年度、2016年度、2020年度)



修大フォーラム前ベンチの設置
(2019年度)



修大池デッキ等の改修
(2018年度)



「変転するフロア」(若山裕昭 作)
銅板レリーフ(協創館)
(2014年度)

アイデア
募集!!

後援会では、快適なキャンパスライフのお役に立てるような寄贈を考えています。皆さまからもアイデアや要望がありましたら、ぜひお寄せください。

(後援会事務局E-mail : kouyu@js.shudo-u.ac.jp)

講演会

野球人生から学ぶ

～人を育てるマネジメント～

現在の大学生から見る若者像を捉えながら、若者がもつ夢の実現や目標達成に向けて、どのようにモチベーションをアップさせるか。プロ野球広島東洋カープのチームリーダーや、監督の経験を通して培った、“人を育てるマネジメント”についてお話しいただきました。

講師

広島大学スポーツセンター客員教授
広島大学硬式野球部アドバイザー
(広島東洋カープ元監督)

野村 謙二郎氏 (のむら けんじろう)

■ プロフィール

1966年生まれ。大分県出身。駒澤大学から1988年ドラフト1位で広島東洋カープに入団。リーグを代表する内野手として活躍した。2005年には通算2,000本安打達成。同年限りで現役を引退。2010年から5年間カープの監督を務め、2013年には球団初のクライマックスシリーズ進出を果たす。若手を積極的に起用し、チーム改革を成し遂げた。2022年6月より現職広島大学スポーツセンター客員教授及び広島大学硬式野球部のアドバイザーに就任。



野村謙二郎です。今日はよろしくお願ひします。まず、この講演にお招きいただきありがとうございます。

僕は、皆さんがご存知のように、3連覇する前の勝ててないときの監督なんで、成功例でなくて失敗例ばかりの話になるかもしれないんですけど、経験したことをお話しできたらいいなと思っております。

プロ野球選手への道 ～ドラフト～

僕の生まれは九州の大分です。4年間、東京の大学に行って、1989年に広島東洋カープにドラフト指名されまして、それから35年ぐらいつつと広島にいます。

ドラフトと言いますと、プロ野球選手になる夢を追いかけて、高校生、大学生、社会人がプロの球団に入るんですけど、僕の場合はちょっと変わってまして、就職と思って広島を選びました。まず、何をしたいか。プロで野球がしたい。次に、どこのチームなら自分の能力が活かせるか。学生さんであれば、今後、自分が何をやっていきたいか。今、学んでいることを、どうすれば仕事で活かせるか、それと同じ感覚でした。

広島東洋カープ ～入団～

僕は当時のカープの野球が大好きでした。あと、すごく強かった西武、とにかく塁に出たら走るスーパーカートリオがいた横浜ホエールズ（現ベイスターズ）、大学時代に野球部の神宮の球場で選手達をよく見ていたヤクルトスワローズ。この4球団以外はプロにいきませんと大学の監督に伝えていました。

念願が叶って、カープに入団しました。2月1日から宮崎でキャンプインなんですけど、そこで衝撃を受けました。とんでもない世界に入ったなど。当時は、高橋慶彦さん、正田さん、北別府さん、大野さん、川口さんという、テレビでしか見たことがないような選手と一緒に練習するわけなんです。とにかくスピードが違う。キャッチボール一つにしても、綺麗、正確。バッティング練習に至っては、打球の速度が全然違う。意気揚々と入団した僕ですが、「これはもう無理だ。3年頑張ったらダメだったら、違う仕事を考えよう」と、キャンプ初日に思ったことを今でも覚えています。

レギュラー獲得

1年目が終わったころ、運良くと言ったら怒られますけど、高橋慶彦さんがトレードに出て、「はい、ショート野村どうぞ」というときが来たんです。「どうぞ」と言われても、それだけの技術がまだ備わっているわけではなく、ボールを捕ったら投げて、塁に出たら走って、球が来たら打って、みたいな感じでした。なんとか成績は残せたんですけども、1年間あっという間に過ぎました。

3年目の91年に優勝することができました。でも、あまり試合中のことは覚えてないです。コーチに打っても怒られ、ミスをしたら、さらに怒られ、結構ビクビクしながら球場に行ったことが思い出されます。

原点に戻る

僕はレギュラーというポジションをつかめたんですけども、当然、打てないときや、ミスして叱られてへこむとき、いろんな事がありました。では、なぜ僕がそれをクリアして、結果的に17年間カープで選手としてプレイできたのか。もちろん、自分でも分からないうちに経験値が力になり、知識になり、技術の向上につながったと思います。

でも、突き詰めていくと、なぜ野球をしていたか。どうしてプロ野球選手になれたのか。ということに辿り着くわけですね。なぜ野球を始めたか、好きだったからです。好きじゃなきゃ、あんなに暑い中、泥んこになってできないですよ。どうしてプロ野球選手になれたのか。同じ世代、たくさん選手がいる中で、スカウトの人達が見てくれて、「あの選手いい選手だ」と認めてくれたからプロ野球選手になれたんです。自分自身がモヤモヤしているときは原点に戻って、「好きだからやっているんだろ?」、「お前、選ばれたんだろ?」と自分に問いかけ、17年間なんとか頑張ることができました。



発想の転換 ～スランプを乗り越える～

スランプを乗り越えるには、発想の転換、自分の捉え方を変えることです。僕が練習にあんまり気分が乗らないとき、どうしていたか。わざとバットを持たない、ボールを打たないようにしていました。特にスランプのときは、打っても上手くいかないんで、練習をやめようという発想をするタイプだったんです。でも、これ面白いことに、大好きな野球ですから、練習をしないと野球に飢えるんです。研究したくなるんですよ。

僕は野球道具を家に持ち帰らない人間で、後にいろんなタイトルを取ったり、タテとか賞状とかあるんですけども、家に一つも置いてないです。家では忘れたいから。ただ、バットが1本、リモコンがあちこちに転がるのが嫌で、(バットで)電気を消すためにベッドの傍に置いてあるんですけど、家でベッドに横になりながら映画を見ている、頭の中のどこかでは、野球のことを考えているんです。すると、ふと打ち方が閃いて、グリップの位置はこうなのかなとバットを握ったりするんです。そのうちベッドから立って構えたりしていると、どんどんアイデアが出てきて、今度は庭に出てバットを振り始めるんですね。頭の中は時間が止まっていて、気が付くと2～3時間バットを振っている。そして、翌日の練習で実際にやってみるという経験をしました。人にやらされるんじゃないかと、自分が考えて、集中してできるときは、すごく身になっていると思います。

天使と悪魔の選択

僕は、現役時代の終わりに「もう一人の自分に勝つ」ということに気が付きました。監督になってからは選手に、「天使の自分と悪魔の自分が君たちの中にいると思うよ。サボる自分と頑張る自分のどちらを選択するか。いつも悪魔の方を選択していると人間としても、プレイヤーとしてダメになっていくよ」と伝えるようにしました。全部、正しい判断をするのは難しいと思うんですけども、悪い方の選択が多くなってくると、選手というか人というのは、やっぱり周りから見ても評価されないんじゃないかなと思います。

選手リーダーの務め

僕は選手時代にチームリーダーと言われたんですけども、「チームリーダーやります」とか、「キャプテンやります」と自分から言ったことがないんです。リーダーと言われても嬉しくもないし、別にリーダーと思ってないんだけど、マスコミから言われるのでやっていました。実際、リーダーというのは周りが作り上げるもので、我々であれば、自分の野球感に共感してサポートしてくれる人達と一緒に行動したとき、意見をまとめるポジションなんじゃないかなと思います。

監督時代 ～監督の役割～

監督を5年間やらせてもらったんですけど、1年目は「今年はAクラスを狙います。ではなくて、優勝という言葉を出そう」という、選手の意識改革からスタートしました。とにかくチームを変えようと、必死にやったんですけど、ご存知の通り、大ごけしまして結果がついてきませんでした。僕ばかり「ついてこい、ついてこい」と前を一生懸命走っていて、選手達は、なんかキョロキョロしながら後ろの方を走っている、と感じました。当時は試合に集中するどころか、ヤジに耳が行くほど厳しい言葉をいただいたり、球場に行くのが怖くなる時もありました。



僕は野球日誌をずっと付けていて、それを読み直しながら、自分がどういうメンタリティーでゲームに臨んでいたのか、1年間やってきた試合の振り返りをしていました。その手帳に、「監督が動くな。もっと人を使いなさい」と書いています。というのは、プロ野球は、監督と、ピッチングコーチが2人。バッティングコーチが2人。守備走塁コーチが2人。キャッチャー・バッテリー間のコーチが1人います。選手は監督より、近くにいるコーチとミーティングや会話をよくするんですね。そこで、僕は選手に直接指導をしないようにして、コーチ陣に動いてもらうことに決めました。秋のキャンプから実行するんですけど、これはめっちゃくちゃ良かったです。やっぱり、目に入ったものは「こうなってるよ」「こうの方がいいよ」と伝えたいんです。だから、選手がバッティング練習をしているときは、声をかけられないように外野に行くんです。ブルペンでピッチャーが練習しているときには、「カー

ブの投げ方の癖が出てるな」とか言いたくなると（ブルペンから）離れるんです。遠くで見ながら、気付いたことは手帳に書くんです。でも、監督なんで、メモしたことやチームの方向性については、練習のあと宿舎に帰ってから、コーチに伝えるようにしました。

選手への直接指導はコーチに任せ、監督として選手とコミュニケーションを取ることに努めました。選手の性格やタイプを知り、話し方や接し方に気を配りながら、「調子はどうなんだ？」とか、「子どもはいくつになった？」とか、「昨日、何食べに行ったんだよ？」とか、たわいもない話をすることに心がけていました。

そうしていく中、菊地や丸が出てきて、だんだん力が付いて4年目にCSに行けました。5年目にチームはでき上がっていたんですけれども、勝たせることができなかった。それでも最後の2年間はとても充実していました。僕が監督1年目のメンバーと、最後の年のメンバーは全然違うんですよね。だから、チームを作るというのは、それだけ時間がかかるものだと思います。なので、新井監督がいかに上手にやっているか。僕の後輩なんてあまり褒めてもあれなんですけど、すごいなって思います。今年、ちょっと厳しいかなあーと思ったんですけど、あれだけ頑張っているのは本当に嬉しく思います。是非、皆さんカープを応援してあげてほしいなと思います。



挨拶

最近、挨拶をしっかりしましょうと、皆さん言われていますか？プロ野球界では、「グラウンドに来たら、ユニフォームを着てない人にも挨拶しましょう」と必ず指導します。OBや、他球団のOBの方、時には全然、知らない人もいますが、必ず止まって、「こんにちは」と挨拶するんです。そこで「お前、誰だ？」と聞かれたら、「何々高校出身、何々大学出身、何々です。何年目です。よろしくをお願いします。と言いましょ」と教育します。挨拶すると、相手の人は絶対、「あっ、カープの選手はしっかり挨拶してくれるな」と、どこかで言ってくれるはずなんです。それだけでもプラスなんです。

聞く力 ～新井監督のエピソード～

僕は新井監督がカープに入団したときから知っているんですけど、彼の天才的なところは、「100聞かない力」というか、「把握しない力」がズバ抜けています。といって、人に絶対に嫌われない。なぜかと言うと、相手の目を絶対に逸らさない。それと、オーバーではない適度な頷き。でも、全部は聞いてないです。

これは皆さん、とても大事なことなんです。今の時代、Aコーチがこうしろ、Bコーチがこうしろ、と言ったら、頭の中がぐちゃぐちゃになって、フォームが崩れる選手がいるんです。Aコーチの言ったことをやってみようと思ったら、あとは二つも三つもする必要がないんですよ。それをやるからおかしくなる。頭にいっぱい入れすぎてダメになった人を、僕は見てきています。

大切なことは、話の聞き方だと思います。人に嫌われない、人に嫌な思いをさせないでアドバイスを受けること。それがすごく大事で、そうしないといけないと思います。

監督の秘密の手帳 ～怒りのマネジメント～

この手帳は監督時代に、ずっと付けていたものです。これは僕の中では、野球の試合の記録を残すことが一つ。もう一つは、自分の怒りのゴミ箱です。試合の中で腹が立つこと、悔しかったこと、自分の采配がちょっと迷ってしまったことも書いてあります。手帳の中身は、ひどいことも書いてあって読めませんけど、自分の怒りのマネジメントをしているんです。ノートに書いたことを試合が終わったあとで読み直すと、自分のメンタルがどうなっていたか整理できるような気がします。皆さんも、怒りがあったときに、本当は誰かに話すのがいいと思うんですけど、何かに書き出して、そのあと読み返すと、自分の怒りがコントロールしやすくなるんじゃないかなと思います。

コーチングのあり方について

監督を引退して、今は解説の仕事や、広島大学で時々授業をやらせてもらったりしているんですけど、僕は大学院に50歳を過ぎてから行きました。自分の子供と同世代の生徒と一緒に学んで、今の若い世代が、何をどういうふうに考えているか、ということもすごく勉強になりました。授業の提出物もパソコンで、いろいろと大変でしたけど、何とか博士号が取れました。

僕が研究のテーマとしてやっていたのは、『身体特性に基づいたコーチングのあり方』です。同じ指導方法でも上達する選手と停滞する選手がいます。なぜそういうことが起きるのか、長い野球経験の中で疑問に思っていた原因を研究しました。すると、4スタンス（フォースタンス）という理論があることが分かりました。ざっくりと言うと、人の体の動かし方を4つに分類し、それぞれのタイプに合った動きをすれば、最大限の力が出るという理論です。そして、そのタイプは重心の位置によって分類されます。立ち方、歩き方、座り方、持ち方、野球であればバットの握り方とか、人それぞれ重心のかけ方が違って、タイプに合った動きをしないと力が発揮できないわけです。選手が練習しても伸び悩むのは、センスがないのではなく、タイプに合う動きでない場合があるということなんです。



だから、指導する側は選手の体形や容姿だけで判断せず、どのタイプか見極めながら指導しないと、指導を受ける選手が混乱して、理解できない、思うようにできない、ということが起こるわけです。今、プロ野球では、だいたいのチームが、タイプの違うコーチを一人ずつ置いていたりしています。そうすることによって選手の理解力が深まるし、練習の効率化、技術の向上につながっているわけです。

世代間の距離を埋めよう

「今の若い子は」とよく言われますよね。僕らの時代は新人類と言われていました。逆に、大人は「今の若い子にはついていけない」「全然分かんない」というのもよく聞きます。人との付き合い方は、スマートフォンが普及して便利な反面、人との会話が減ったと思います。若い世代は先輩方をリスペクトし、先輩方は「今の若い子は」ではなく、頑張る若者に近づく努力をしないと、ますます距離が出てくると思います。お互いコミュニケーションを取り、距離を縮めて理解しようとするのが、いろんなトラブルの防止になるんじゃないかなと思います。

そろそろ時間が来ました。最後に、何か皆さんから質問があればなんでも聞いて下さい。ありがとうございました。

質疑応答 ～スポーツ選手のイップスと克服方法について～

ご質問ありがとうございます。僕はイップスの経験が大学時代にありました。それも、本当にしょうもないことが始まりでした。先輩とキャッチボールをしていて、僕が投げたボールがちょっと横滑りして先輩のグローブの網に入ったんです。先輩は網を直しながら、僕の顔をにらみつけたんです。それからボールが投げられなくなりました。だから、本当に些細なことです。ただそれは、投げ方ではなくて、メンタリティーがすごく強いと思います。

イップスは、どの選手にもあり得ることで、治りかけていても、何らかのタイミングで発症すると、脳が覚えていてブレーキをかけてしまいます。治す方法は、反復練習はさることながら、メンタリティーの面でも「もう大丈夫だ」と言い聞かせていかないといけないと思います。



プロ野球選手の中にもイップスの人は結構いるんですけど、僕は、野球を始める少年野球の時代に、いいところ取りをするのがよくないと感じます。指導者が、球が速いから、打つからと言って、良い所ばかり褒めて悪い所は目をつぶっていくと、結局、克服できなくなってしまう。イップスはこれからもっと増えるんじゃないかなと思います。治す方法は色々あります。例えば、短い距離から投げる。大きい的に入れる。ピッチャーじゃなかったら、だいたい人が捕れるこの範囲に投げとけばいいよ、と安心感を与えるとか。そういう練習から入って行くんです。再発した時は、自分がそこに戻って、これをやったらまた治るんだと、という安心感を持つことが大事だと思います。

アンケートにご協力ください

2024後援会だよりVol.22についてのアンケートにご協力ください。いただいたご意見・ご感想は、今後の誌面作りに活用させていただきます。

アンケートは以下のURLもしくは2次元コードからWEBよりご回答ください。

アンケート締切 2024年8月31日(土)

<https://ws.formzu.net/dist/S40400801/>



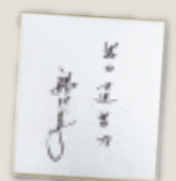
ご回答いただいた方の中から抽選で3名様に、

「2024年広島修道大学後援会 講演会講師

広島大学スポーツセンター客員教授
広島大学硬式野球部アドバイザー
(広島東洋カープ元監督)

野村謙二郎氏のサイン色紙

をプレゼントします!



2024年度 総会・講演会等アンケート集計結果 (記述式)

※一部抜粋

後援会総会についての意見・要望

- ・説明内容、説明時間とも良く、理解できました。
- ・わかりやすい内容だと思います。役員の皆様、大学でのサポートをしていただき、ありがとうございます。今後とも宜しくお願いいたします。
- ・きちんと、進行がなされており、何に使われているか明確であった。
- ・学長、後援会会長、教職員の皆さま、先日は大変お世話になりました。大学の様子が大変よく分かり、今回参加させて頂いて本当に良かったです。

大学現状説明についての意見・要望

- ・卒業生から、沢山の企業のトップに繋がっている実績があり、素晴らしいなと思います。子供の大学生活に良い影響があれば嬉しいです。
- ・広島修道大学の目指す信念や方向性などがよく理解でき、子供にも誇りを持って大学に通い色んなことを学んで欲しいと思いました。
- ・今後のビジョンもしっかり考えられていて安心しました。大学、家庭、学生と連携を密にして情報を共有できればと思います。
- ・子どもがどんな学生生活を送っているのかを知る機会ができてよかったです。
- ・当方、30年前の卒業生ですが、今でも進化している大学の状況がよくわかりました。
- ・学長の話がもう少し聞きたかった。
- ・矢野学長より、広島の若者流出のお話し、大変興味深く拝聴させて頂きました。広島修道大学の在学学生、卒業生を筆頭に、広島の街を益々盛り上げて下さることを願っております。

講演会についての意見・要望

- ・野村謙二郎さんのお話が楽しく、野球をそんなに知らない人でもわかりやすく、為になりました。メンタルの持ち方は、大切だと思います。自分が人の気持ちに寄り添って、どうするべきか考えるきっかけになりました。このような講演会は、とても嬉しいです。
- ・まだまだ続きを聞いてみたかった。学生にも保証人にも刺さる内容でした。リピートをお願いしたいくらいです。
- ・人との関わり方について考えさせられました。とても勉強になるお話でした。学生にも聞かせてほしいです。
- ・広島に住む者として、大変興味深い人選、内容だった。昨年もとてもいい勉強になり、私に刺激を与えてもらいましたが、今年も大変有意義な1時間でした。
- ・子供や人との接し方について、いいアドバイスを得ることができてよかったです。
- ・野村謙二郎氏の講演会、大変面白かったです。現役時代も引退後も大活躍で素晴らしいです。冗談を交えながらのユーモア溢れるお話しは、野村さんのお人柄がよく分かり、本当に楽しい一時間でした。

昼食会についての意見・要望

- ・食事の様子や内容が分かりました。健康も考えてあり有り難いです。先生とお話出来る機会もあり良かったです。
- ・お腹いっぱいになり満足でした。バランスも良く、美味しく頂きました。トレーに一品ずつ取るスタイルが、学校給食みたいで懐かしかったです。
- ・量や味など、じっくりと堪能できました。
- ・いつも子供が利用してる食堂で食事ができて良かったです。
- ・子供がいつも食べているものを知ることができてよかったです。美味しかったです。
- ・どのおかずも美味しく、毎日の昼食を食堂でお世話になっている娘が羨ましくなる程、大変美味しく戴きました。機会があれば、また食堂へ食べに行きたいです。
- ・子供お勧めのハンバーグが食べられて嬉しかったです！こんなに食べさせていただけると嬉しかったです。

保証人向けガイダンス (国際センター) についての意見・要望

- ・学内でも色々国際交流の場や説明会等あることが分かりました。
- ・留学制度が充実していてサポートもしっかりあるので良いと思いました。留学先も沢山あるので、留学したい生徒さんには、楽しいだろうなと思います。
- ・新しい奨学金制度のお陰で、留学のハードルが下がりそうです。子どもとの話題にします。
- ・留学が出来るチャンスが沢山あったり、学校でも国際交流出来る場があるのでいいと思いました。
- ・給付制度があり留学しやすい環境で良いと思いました。

保証人向けガイダンス（キャリアセンター）についての意見・要望

- ・ポイントで、細かい説明もありわかりやすい内容だと思いました。就職の際には、とても参考になります。今からでも意識して生活できれば、違うのではないかと考えさせられました。
- ・簡潔手短での説明で、ちょうど良かったと思います。詳しく知りたいタイミングで子どもから相談に行ける環境であれば良いと思います。
- ・どのような流れで就職活動が始まるのか、時期やタイミングが知れて子供と共有しようと思った。
- ・就職活動について、大変参考になりました。民間企業、公務員等、具体的に例を挙げて解説してくださり、とても分かり易かったです。このような機会を設けてくださり、ありがとうございました。
- ・今後親として、どのようなサポートをしていけばいいのか参考になりました。

今後の保証人向けガイダンスについての意見・要望（テーマや実施方法 など）

- ・初めて参加させていただき、前回、前々回も参加すれば良かったと後悔しています。
- ・1年生なので初めて参加させていただきましたが、修大のことが少しずつ分かって有り難いです。今後も、今回のようなガイダンスで良いと思います。
- ・大学に行く機会ができ、どのガイダンスもとてもためになりました。
- ・大変中身の濃い内容盛り沢山の有意義なガイダンスで、参加させていただいて本当に良かったです。次回もぜひ参加させていただきたいと思っております。引き続き、よろしくお願いいたします。

キャンパスツアーについての意見・要望

- ・学生さんが、一所懸命に説明されて、好感が持てました。
- ・現役の修大生の案内で、とても良かったです。質問にも丁寧に答えてくれて、よくわかりました。楽しくキャンパスライフを送っているのがわかりました。
- ・ツアーガイドの学生さんが、自分なりの案内をよく考えて説明していただいて、とても楽しかったです。
- ・とてもいい企画でした。9号館やライブラリーが特に良かったです。2025年の新体育館も完成がとても楽しみです。
- ・教室の設備や図書館などは凄い設備で、学生が快適に過ごせるようにしてあり素晴らしいと思いました。学生のガイドさんもテキパキと説明してくれてわかりやすくよかったです。キャンパスが広いので移動が大変だなと思いましたが、子供がこの環境でキャンパスライフを楽しんでほしいなと思いました。
- ・三年生の女子学生さんが明るくステキな笑顔でキャンパス内を案内してくださいました。キャンパスはとても美しく活気に溢れ、素晴らしい環境だと思います。
- ・学生さんが丁寧に説明してくれ、歩くスピードもゆっくりでした。保証人側にとっても気を配っていただきました。図書館の広さに驚き、ここに住みたいと思えるほどの環境でした。

本日の後援会総会等の全体について、今後実施してほしいプログラムなどご意見・ご感想

- ・来年以降も同内容での実施を希望します。
- ・全体的に昨年度、アンケートに書いた問題点が改善されていて、とても満足できました。
- ・広島著名人の方の、色々なお話を聞きたいです。
- ・学生が普段頑張っているダンスや演奏などの実演か映像を見せていただけたら、どういった学生生活を送っているか実感できると思う。

後援会について、ご意見・ご要望

- ・本日、保護者のためのガイダンスを企画していただきありがとうございました。小中高校とは違い保護者が大学へ足を運ぶことはなかなかないので楽しい一日でした。今後も続けていただければと思います。
- ・とてもスムーズな流れで、一日楽しく過ごせました。ありがとうございました。
- ・卒業記念品の名刺入れは、同じ学校の卒業生だとわかりやすく、話題にもなり、大変重宝しました。ポロポロになるまで使いました。継続していただきたいと思います。
- ・お世話になっております。子供がギリギリですが、3月の下旬に修道大学に入ると決めたので、オープンキャンパスも行ってなく心配でしたが、入学して親は本当に良かったと思っています。このような機会を設けていただき、本当にありがとうございました。一人暮らしで頑張っている子供がどのような所で勉強したり昼食を食べたりしているのか、良くわかりました。給水ボトルの件、大変喜ぶと思います。
- ・おいしいランチが食べれて、講演もすてきで、満足です。とてもいい環境の中、とても優しい先生方に勉強させていただいていることがよく分かり、いい時間が過ごせました。

特集2

後援会の活動内容

学生生活に関する支援

後援会では、以下のような学生生活に関する支援を行っています。

1 学生との交流支援

教職員が授業又は大学登録サークル活動の一環として行われる学生との懇親会に参加する場合、参加費として1回につき学内開催の場合2,000円、学外開催の場合6,000円を支給しています（支給回数に上限あり）。学生同士はもとより、教職員との親睦を深める機会となっており、その後の授業等において、活発な意見交換や活動につながっています。

2 サークル活動支援

(1) サークル活動の随行

大学登録サークルの顧問である教職員及び大学が認定する学外指導者が、サークル活動（試合・合宿）に参加する場合、旅費を支給しています。

(2) 全国大会出場サークルへの奨励

大学登録サークルが、全国大会や国際大会を冠する世界的レベルの大会などへ出場する場合、1団体につき30,000円、個人での出場の場合は1人につき10,000円の奨励金を支給しています。

全国大会出場サークル（2023年度実績）

団体

サークル名	大会名	開催月
合気道部	第60回全日本合気道演武大会	6月
軟式野球部	第46回全日本学生軟式野球選手権大会	9月
ソフトボール部男子	第58回全日本大学ソフトボール選手権大会	9月
軟式庭球部	令和5年度全日本学生選手権大会	10月
空手道部	第67回全日本大学空手道選手権大会	11月
FCフェルテ	アットホームチャンピオンシップ2023	12月
テコンドー部	第35回全日本学生テコンドー選手権大会	12月
スカッシュ部	第49回全日本学生スカッシュ選手権大会	3月
ダンスサークル	BUZZ STYLE vol.18 FINAL	3月

個人

サークル名	大会名	開催月
空手道部	第67回全日本学生空手道選手権大会	7月
バドミントン部	第11回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会	8月
水泳部	第99回日本学生選手権水泳競技大会	9月
陸上競技部	天皇杯第92回日本学生陸上競技対校選手権大会	9月
ヨット部	ピアソンマリン全日本470級ヨット選手権大会2023	9月
サッカー部	国民体育大会（選抜出場）	10月
軟式庭球部	国民体育大会（選抜出場）	10月
バドミントン部	第74回全日本学生バドミントン選手権大会	10月
少林寺拳法部	第57回少林寺拳法全日本学生大会	11月
準硬式野球部	第41回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会	11月
アイススケート部	第11回日本学生女子アイスホッケー大会	11月
スカッシュ部	第52回全日本スカッシュ選手権大会	11月
卓球部	第89回全日本大学総合卓球選手権大会	11月
スカッシュ部	第50回記念全日本学生スカッシュ選手権大会	12月
空手道部	第51回全日本空手道選手権大会	12月

Pick Up!

2023年度、全国大会に出場している空手道部の練習に、後援会事務局（以下、後援会）が取材でお邪魔しました。

空手道部

部員数：6名（男子4名、女子2名）

練習日時：毎週火・木・金 17:00～19:00

場所：体育館1階 空手道場



主将の^{すぎもと かずと}杉元一斗さん（経済科学部 経済情報学科 3年）と、^{まつだ ゆうか}松田祐佳さん（人間環境学部 人間環境学科 3年）にお話を伺いました。

後援会：こんにちは。まず始めに空手道部の紹介をお願いします。

杉元さん：空手道には、形と組手の2種類の競技があります。形は、架空の敵を想定して演舞をする競技で、速さ・力強さ・美しさなどを競います。一方の組手は、一対一の真剣勝負ですが、相手を本気で倒すわけではなく、寸止めのポイント制で競います。大会に向けて、男女間も関係なく仲良く、切磋琢磨しながら活動しています。

後援会：空手道を始めたきっかけは何ですか？

松田さん：幼いころぜんそくがあり、家族のすすめで小学生の頃から始めました。中学3年生のとき、初めて個人で全国3位になったのですが、その後怪我の影響もあり調子が悪く、大会に出場できないときもありました。最高によい時を経験したからこそその脱落がとても悔しかったのを覚えています。悔しかったからこそ、さらに努力して結果を出すことができたのがとても嬉しくて、空手道は私の生活の一部となっています。

後援会：空手道を通して大切にしたことや、身についたことはありますか？

杉元さん：はい。礼儀を大切にしています。空手道は、「礼に始まり、礼に終わります。」普段の生活から、感謝の気持ちを忘れず、礼儀が自然と身につきます。

後援会：空手道部の皆さんは昨年も全国大会に出場されましたが、後援会からの奨励金はどのように活用していますか？

杉元さん：道具の購入などに使わせていただいています。とても助かっています。

後援会：それでは最後に、今後の目標を教えてください。

杉元さん：空手道部の目標としては、全国大会出場を掲げています。

松田さん：今年も5月の全国大会予選で全国大会出場が決まったので、出場メンバー全員が1回戦突破ができるよう頑張ります。

後援会：頑張ってください。応援しています。



就職活動支援

毎年、就職活動に役立つアイテムを学生に配布しています。2023年度は大学名入りの付箋セットを配布しました。就職活動に関する様々な場面で使用していただいています。

卒業記念品

卒業生へ卒業記念品として、名刺入れを贈呈しています。広島修道大学のシンボルマーク入りのもので、卒業後の名刺交換の際には、卒業生同士の出会いに一役買っているようです。

Pick Up!

^{たかはし みか}
高橋 未佳

人間環境学部 人間環境学科 2024年3月卒業
就職先：大晃機械工業株式会社

卒業に際し、お心のこもった記念品をいただきましてありがとうございました。社会人生活に大いに役立て、大切に使用させていただきます。

卒業後の現在は、設計領域のシステム刷新プロジェクトメンバーとして情報管理による利益の最大化に取り組んでおります。

今後も大学時代の経験を糧として、日々精進してまいります。



広報活動

後援会では、保証人の皆さまのお役に立てるよう、「後援会のしおり」および「後援会だより」を作成しています。

また、後援会 WEB サイトや後援会 LINE 公式アカウントの運用もおこなっております。詳しくは本冊子裏面をご覧ください。



後援会のしおり
(年1回発行)



後援会だより
(年1回発行)

サークル活動紹介

準硬式野球部

私たち広島修道大学準硬式野球部は、選手48名、マネージャー5名で活動しています。今春のリーグ戦では、2勝2敗1分で、3位という結果でした。準硬式野球部の最大の魅力は、オンとオフがはっきりしているところです！月曜日と土曜日の週2回という、少ない全体練習ではありますが、練習する時はしっかり練習することを心がけています。主将が監督の役割も担い、選手主体で楽しく活動しています。

今後の目標は、秋のリーグ戦で、上位に食い込むこと、そして、春のリーグ戦で全国大会出場を果たすことです。先輩たちが1部に昇格してくださったので、自分たちの代では全国大会に出場して、恩返しができるようチーム一丸となって頑張っていきますので、準硬式野球部の応援をよろしくお願いいたします！



広島修道大学準硬式野球部 部長
法学部 法律学科 3年 永田 亮一

混声合唱団

こんにちは！混声合唱団です。私たちは現在3年生3名、2年生7名の計10名で活動しています。「混声合唱団」という団体名ですが、主な活動はオーソドックスな合唱ではなく、マイクを使って人の声だけでJ-POPや洋楽などの音楽を奏でるアカペラを行っています。去年の活動では広島修道大学の卒業式や入学式、フラワーフェスティバルや修大祭など、様々なステージでアカペラを披露させていただきました！また、8月、12月には混声合唱団がイベントを主催し、多くの人に演奏を披露することができました。

今後の目標は、活動の輪を広げることです。去年はアカペラのプロとして活動しているPLUS Unison. という団体から2人の講師をお呼びしてアカペラの指導をいただいたり、8月に行った混声合唱団主催のイベントで他大学の学生と共にイベントを盛り上げたりなど、多くの学外の団体と関わりながら活動することができました。今後も外部団体の活動にも積極的に参加していき、活動の輪をもっと広げていけるよう頑張ります！また、自分たちの活動自体を盛り上げるためにも、今以上に部員を増やせるよう勧誘活動も精力的に行っていきます。

最後に、後援会からいただいた奨励金を活かして、活動をもっと盛り上げていけるよう頑張ります！ご支援いただきまして誠にありがとうございます。



広島修道大学混声合唱団 部長
人文学部 人間関係学科 社会学専攻 3年 植野 加子

陸上競技部

私たち陸上競技部は部員61名で日々トレーニングに励んでいます。今年はGO BEYONDというスローガンを掲げており、歴代の先輩方が超えられなかった壁を超えて「歴代最強のチーム」をめざしています。近年はチーム内に力のある選手が増えてきており、西日本インカレや日本インカレなどの標準記録突破者が増え、ハイレベルな舞台で戦う仲間がチーム内にいることで、チームのレベルは確実に上がっています。さらに、2024年シーズンに入り男子では100m・400m・1500m・4×100mR、女子では棒高跳びで修大記録が更新され、今チームは勢いづいています。今年はさらに複数種目での修大記録の更新のチャンスがあるので、残りのシーズンで1つでも多く更新できるよう練習に励みたいと思います。



今シーズンは、上位大会の標準記録突破や修大記録更新などが複数達成されましたが、全員が満足のいく結果を残せた訳ではなく、5月に島根県で行われた中四国インカレでは多くの者が悔しい思いを経験しました。この悔しさをバネに、残りのシーズンで全員が自己ベストを更新し、10月の中四国個人や11月の中四国駅伝で挽回できるようトレーニングに励んでいきます。チーム全員が1つでも多くの目標を達成できるように励みますので、今後ともご支援よろしくお願いたします。

広島修道大学陸上競技部 部長

経済科学部 現代経済学科 3年 よしむら たくき 吉村 拓樹

茶道部

私たち茶道部は現在、3年生5名、2年生11名、1年生10名の計26名で活動しています。普段の部活では稽古はもちろん、お茶を楽しみながら部員同士の交流も盛んです。仲の良い雰囲気は私たち茶道部の魅力の一つです。

茶道部では卒業生や外部の方をお招きする年2回の茶会に向け、先生のご指導の下稽古に励んでいます。茶会では男子は袴、女子は浴衣や着物を着てお茶を点てます。3年生は基本的小茶を点てる亭主の役割を担います。お茶を点てるために覚えなければならない作法は山ほどありますが、失敗を重ねながら日々精進しています。2年生は亭主の補佐役である半東とお運びの役割を担います。半東は床や道具の説明だけでなくお客様に向けたご挨拶もするため、何度も原稿を読み暗記に努めています。



1年生は主にお菓子やお茶を出すお運びの役割を担います。畳の歩き方や作法を早く覚えられるよう練習しています。

今後の目標は、冬頃に開催するお茶会を無事成功させることです。活動中はリラックスした雰囲気と、稽古に集中するときのメリハリを意識しながら活動していきたいと思っています。ぜひ茶道を体験しに来てみてください！

広島修道大学茶道部 部長

商学部 商学科 3年 つねだ ことの 杖田 琴乃

親子で学び合う

後援会理事 もりはら 森原 あや 文

桜が咲き誇るキャンパスの中、胸躍らせながら入学式を迎えた日から2年。

1年次はコロナ禍で多少の制限は有りましたが、講義、サークル、アルバイト、充実した日々を過ごさせて貰えてきました。しかし3年と言うと折り返し地点。娘の口から卒業や就活に向けての不安やサークルを引退する淋しさ、そんな発言が出てくるようになりました。親子でその様な会話になるといつも私は言います。「自分に合うものを見つける事に固執するのではなくどんな世界があるのか、と幾らでも探れば良い。答えもない、正解もないのだから自分なりに考え導き出せば良い。」

『人事を尽くして天命を待つ』中高時代、試行錯誤していた自身に両親から与えられた言葉です。当たり前のことを当たり前にする、その積み重ねから結果は付いてくる。子に語りながらも自分への戒めになっている言葉です。

行事で大学を訪問する機会があります。大学生らしい活気を感じています。学生の皆さんがいきいきと大学生活を過ごされている事を嬉しく思います。

母娘まだまだがっかり合う事は有るでしょうが、子と共に考える貴重な時、今を大切に過ごして行きたい、そう感じています。

一瞬一瞬を大切に

人間環境学部 人間環境学科 3年 もりはら 森原 まい 舞

私は小さい頃からお母さんっ子で、学校であったことや、勉強のこと、友人関係のことを毎日「お母さん聞いて！」と話していました。それは今でも変わっていませんが、登場人物が増えていくので母を困惑させる時がよくあります。友人に話すと「仲が良すぎ！」といつも驚かれますが、私はこれが普通だと感じています。

高校生の頃からダンスをしていて、現在は広島修道大学のダンスサークルの一員として活動しています。ダンスは私になくてはならないもので、ダンスを通して自身が人間として成長できたと言っても過言ではないと思っています。家で練習している際、母に見てもらおうことがあるのですが、母は昔からダンススキルの以前に「表情と心を持って！」と言ってきます。母はいつも辛口で、私をほとんど褒めませんが、逆にそれが私をより強くしてくれていると思っています。

大学3年生の前期が終わろうとしています。長いようで早く通り過ぎてしまったこれまでのことを振り返りつつ、刻一刻と時間が過ぎていく焦りも実感しています。今年の11月で引退となるダンスの行事も一つ一つ終えていく状態で、3年間苦楽を共にしてきた仲間ともあと半年ほどで最後を迎えるとなるととても悲しいです。ですが、泣いても笑っても学生時代はあと1年ほどしかありません。今この瞬間を噛み締め大切にしながら残された時間も100%の力で頑張りたいと思っています。



社会人になる意識を

後援会評議員 きたがわ けんいち 北川 賢一

身体にハンデを抱え、これまで日々の生活のしづらさを感じていたことから「環境に適応できるのか？」という不安を持ちつつスタートした大学生活。

2年目を迎え、学業・サークル活動・アルバイト等と、自分なりに工夫しながらも充実した生活を送っていますが、ここに至るまでには本人の頑張りは勿論のこと、周囲の方々のサポートも大きかったように思います。

この先、社会人になるにあたって、これまでの自分自身を改めて見つめ直す機会が増えてくると思います。更には将来へ向けての「課題」にも真摯に取り組まなければなりません。これまで以上にハードルの高い作業になりますが、苦手なことに目を背けない、面倒臭いことを先送りにならないといった、「稚心（ちしん）を去る」意識を持って自分自身を日々研鑽することが将来へ向けての「自信」に繋がる、そう信じています。

サポートして下さる方々に「感謝」の気持ちを忘れず、貴方の持つ柔軟な思考と行動力でこれからの生活をより充実したものにして欲しいと思います。

今後の更なる頑張りに期待します。

実家を離れて…

健康科学部 心理学科 2年 きたがわ あきひろ 北川 陽大

私は今、実家を離れ祖父の家で生活しています。祖父の家とはいえ、食事や洗濯は自分で行うため半分一人暮らしのような生活です。

そんな私ですが、祖父の家で生活するようになったことで知ったことがあります。

それは今まで両親に当たり前のようにやってもらっていたことのありがたみです。

例えば、食事をするにしても実家では美味しいご飯を作ってもらえますが、一人暮らしでは、まず材料を買い、次に料理を作り、最後に片付けまでしなければいけません。また、食事だけではなく洗濯もしなければいけません。当たり前ですが、洗濯は、洗濯機に洗濯物を入れて終わりではありません。洗濯機を回し、洗濯物を干し、アイロンをかけるまでが洗濯です。こうした毎日しなければいけない家事が、どれだけ労力を使うのか、私は祖父の家で生活するようになってようやく知りました。

家事をする。言葉を使えばそれだけですが、そこに隠れている労力を知った今、実家を出るまでの18年間、私のために時間を使い家事をしてくれた両親に感謝を伝えたいです。

お父さん、お母さん、ありがとう。



Campus navi

キャンパスナビ

教学センター

P26~

学科目の編成、履修、授業、試験、成績に関すること、また、入学、卒業、休学、退学といった学籍管理や身分異動、教職課程その他の資格取得、さらには在学証明書、成績証明書等の各種証明書の発行も行っています。

学生センター

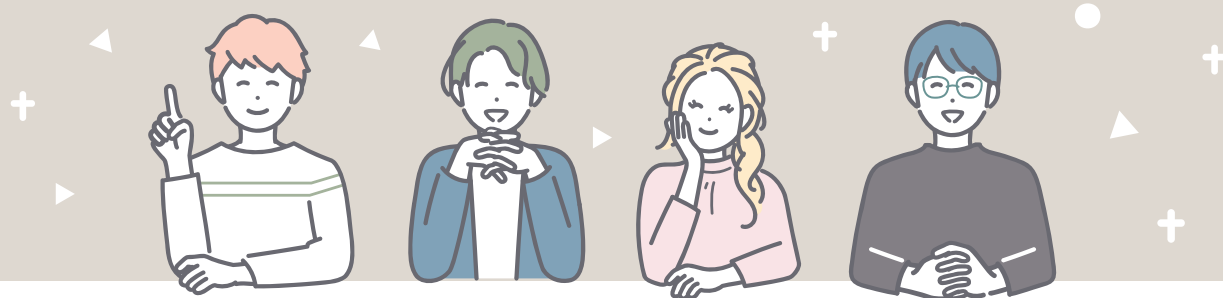
P32~

課外活動、通学等の学生生活に関する支援や奨学金の募集・推薦等のほか、心と健康管理に関するサポートを行っています。

学習支援センター

P40~

学習相談やワークショップ、スタディグループなどの活動を通して、より積極的に主体的な学びを実現できるよう、支援を行っています。



お問い合わせ一覧

学業・学籍 については	相談(履修・授業・試験・成績)(休学・退学など)	教学センター	商学部	082-830-1121
			人文学部	082-830-1122
			法学部	082-830-1123
学費については	資格過程 証明書(在学・成績・卒業見込)	教学センター	経済科学部	082-830-1304
			人間環境学部	082-830-1306
			健康科学部	082-830-1122
	学費・その他納付金	経理課	国際コミュニティ学部	082-830-1123
			資格課程関係	082-830-1127
			証明書関係	082-830-1306
				082-830-1106



広島修道大学では、各センターで学生が安心して
キャンパスライフを送れるよう支援しています。



国際センター

P42~

本学は現在16カ国・地域の35大学と協定を結び、国際センターでは本学学生の派遣、外国人留学生の受入れ、学内での活発な国際交流の推進などを行っています。

ひろしま未来協創センター

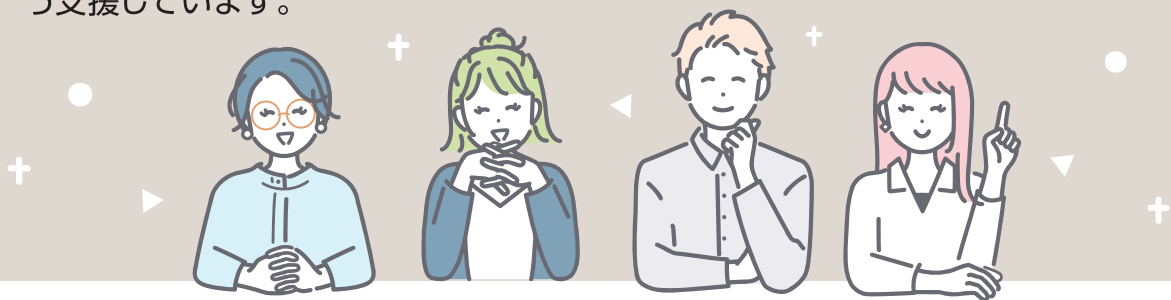
P44~

社会への研究成果の還元及び学内外の研究費管理等の研究支援、一般市民のための講座開講、地域社会との連携による活動支援や学生のボランティア活動支援等の社会貢献及び地域連携を行っています。

キャリアセンター

P46~

大学卒業・大学院修了後、学生の皆さんは就職や進学等それぞれの進路を選択します。様々な悩みや不安を抱えながらも、学生自らが納得して進路を選択できるよう支援しています。



学生生活 については	奨学金 届出(学生・保証人氏名等変更) 学内・学外の事故 障がい学生支援 相談(突発的な経済的変化による学業維持困難)	学生センター	082-830-1117
	健康相談(病気・ケガ・健康診断について)	保健室	082-830-1118
	学生相談(悩み事・心の相談・カウンセリングについて)	学生相談室	082-830-1119
留学については	留学・国際交流	国際センター	082-830-1103
就職については	進路・就職・資格取得	キャリアセンター	082-830-1115
式典については	入学式・卒業式	総務課	082-830-1104
寄附については	大学寄附・新体育館建設 事業寄附		